

# 【 アンケート配布方法 】

各年代から、各世代ごとから均等に意見を集められるよう、  
以下のように配布枚数を設定した。

- ・各年代均等に配布。
- ・他年代より少ない、16歳以上20歳未満年代のみ約3割とする。
- ・70歳代と80歳代を70歳代以上として、合算算出している。

年代	16歳未満	16歳以上 20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	合計
人口数	454	149	302	375	526	586	900	818	587	170	3	4,870
総人口割合	9%	3%	6%	8%	11%	12%	18%	17%	12%	3%	0.1%	
配布枚数	0	46	159	159	159	159	159	159		0	0	
配布枚数割合	-	5%	16%	16%	16%	16%	16%	16%		-	-	
	-	84%								-	-	
各年代人口 配布割合		31%	53%	42%	30%	27%	18%	11%		-	-	

# 【 居住地の地区割り 】

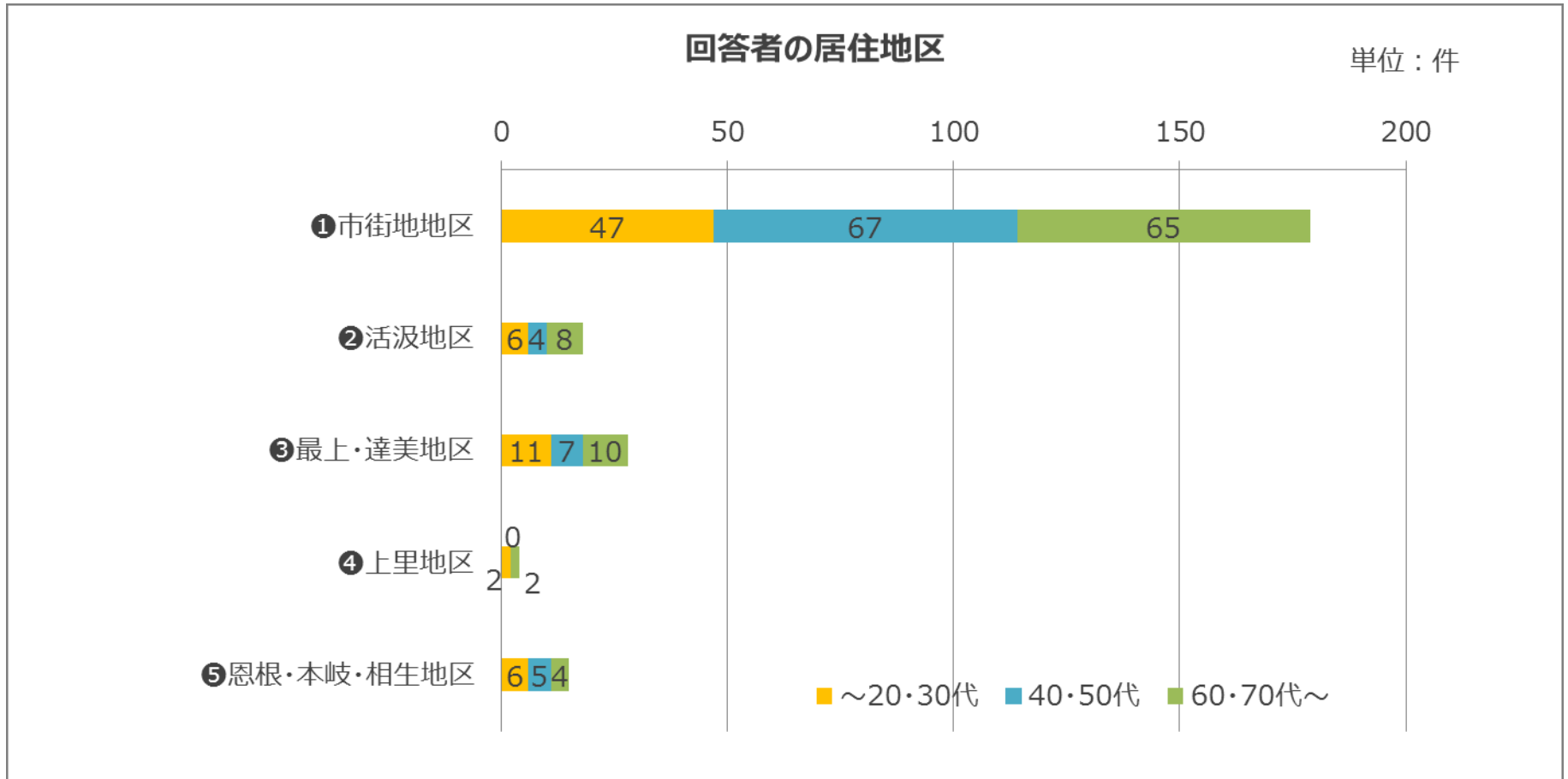
地区別分析で利用している居住地区分は  
下記のとおりとした。（行政の区分と一部異なる。）

地区名	地区に含む町名	地区名	地区に含む町名
①市街地地区	幸町	②活汲地区	岩富
	本町		活汲
	新町		東岡
	一条通	③最上・達美地区	達美
	大通		最上
	西三条	④上里地区	上里
	西二条		高台
	西四条		美都
	東三条	⑤恩根・本岐・相生地区	恩根
	東二条		双葉
	東四条		沼沢
	西町		本岐
	東町		木樋
	旭町		二又
	柏町		大昭
	緑町		栄
	高台町		布川
	共和		相生
豊永			

# 【 回 答 者 の 居 住 地 】

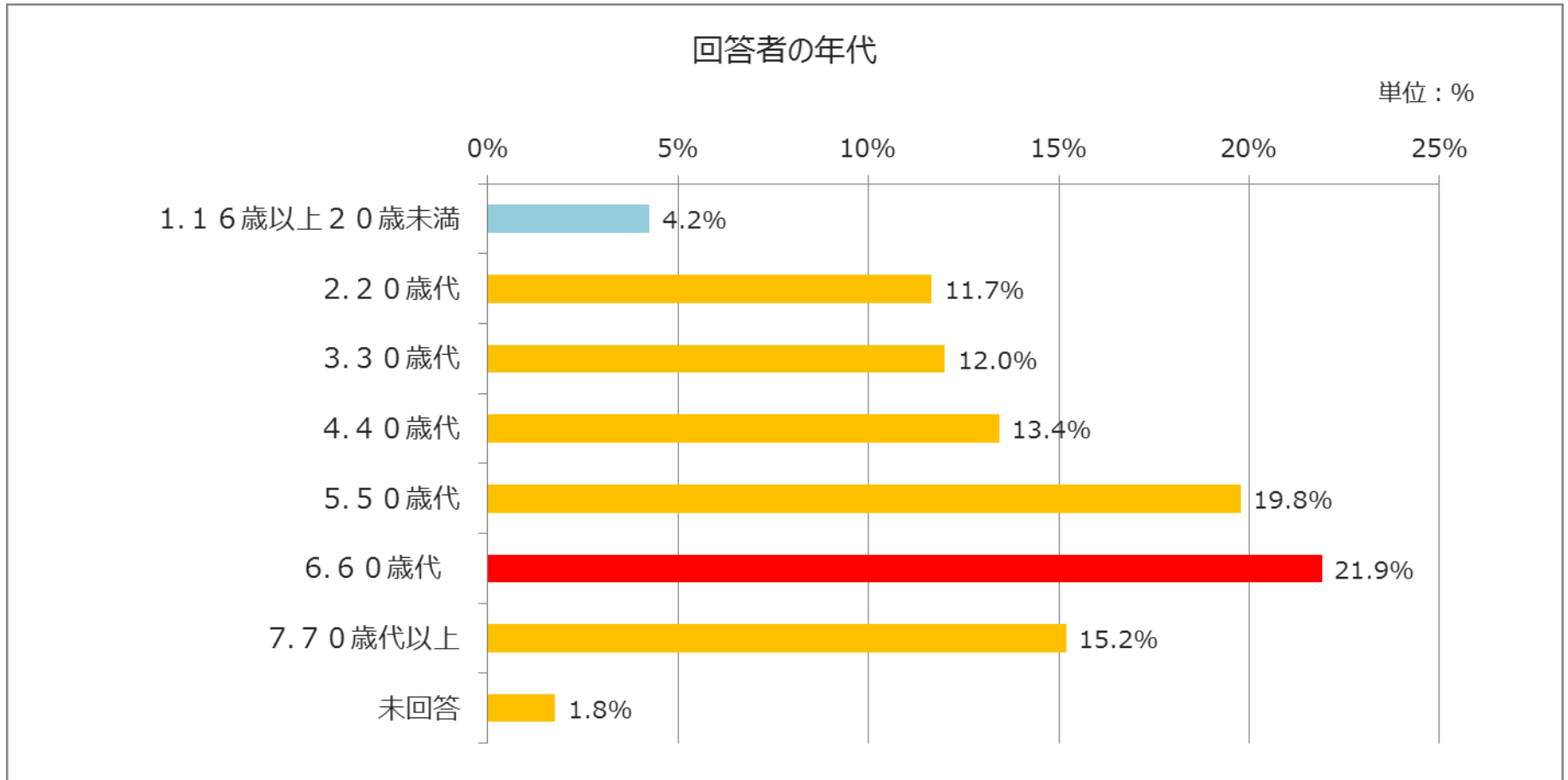
地区別では、市街地区が **64.0%** で半数以上を占める。

次いで、最上・達美地区となっている。



## 【 回答者の年代 】

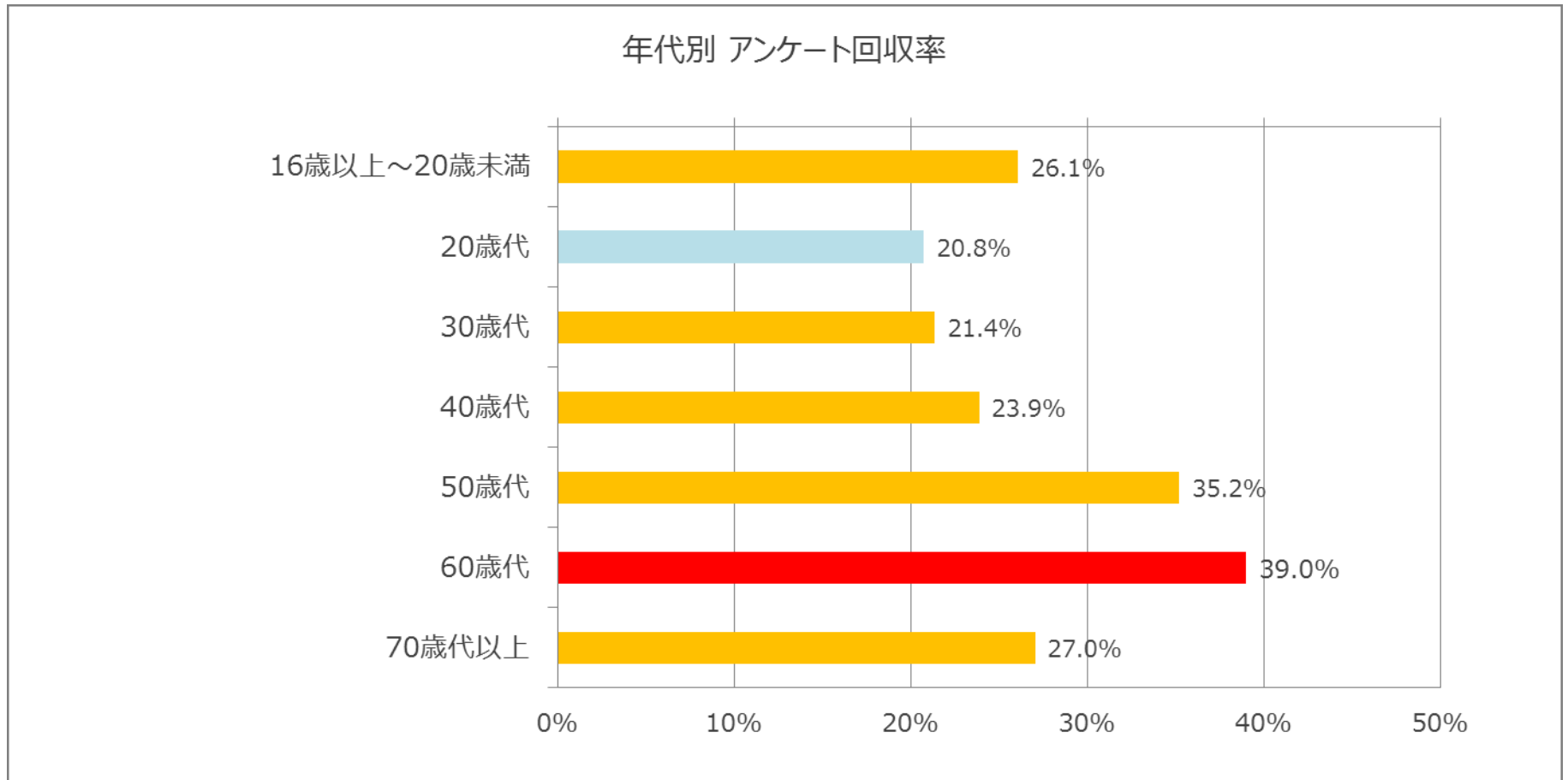
最も多い年代は、60代の**21.9%**で、70歳以上と合わせると全体の35%以上を占める。また、16歳以上20歳未満が最も少ない。



## 【アンケート回収率】

回収率は **28.3%** であった。

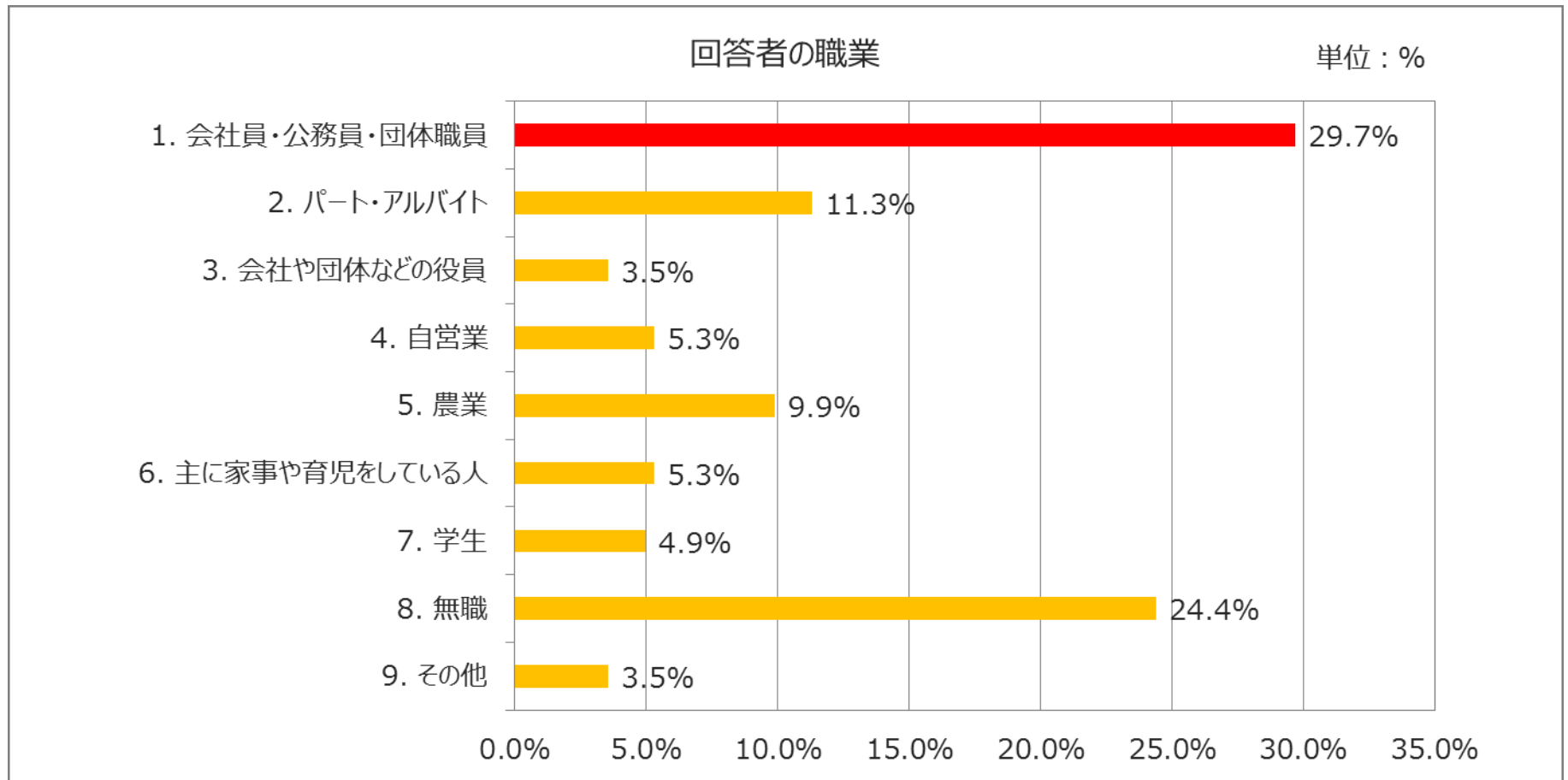
年代別では、60歳代が最も高く、20歳代が最も低い。



## 【 回答者の職業 】

「会社員・公務員・団体職員」が最も多く **29.7%** であった。

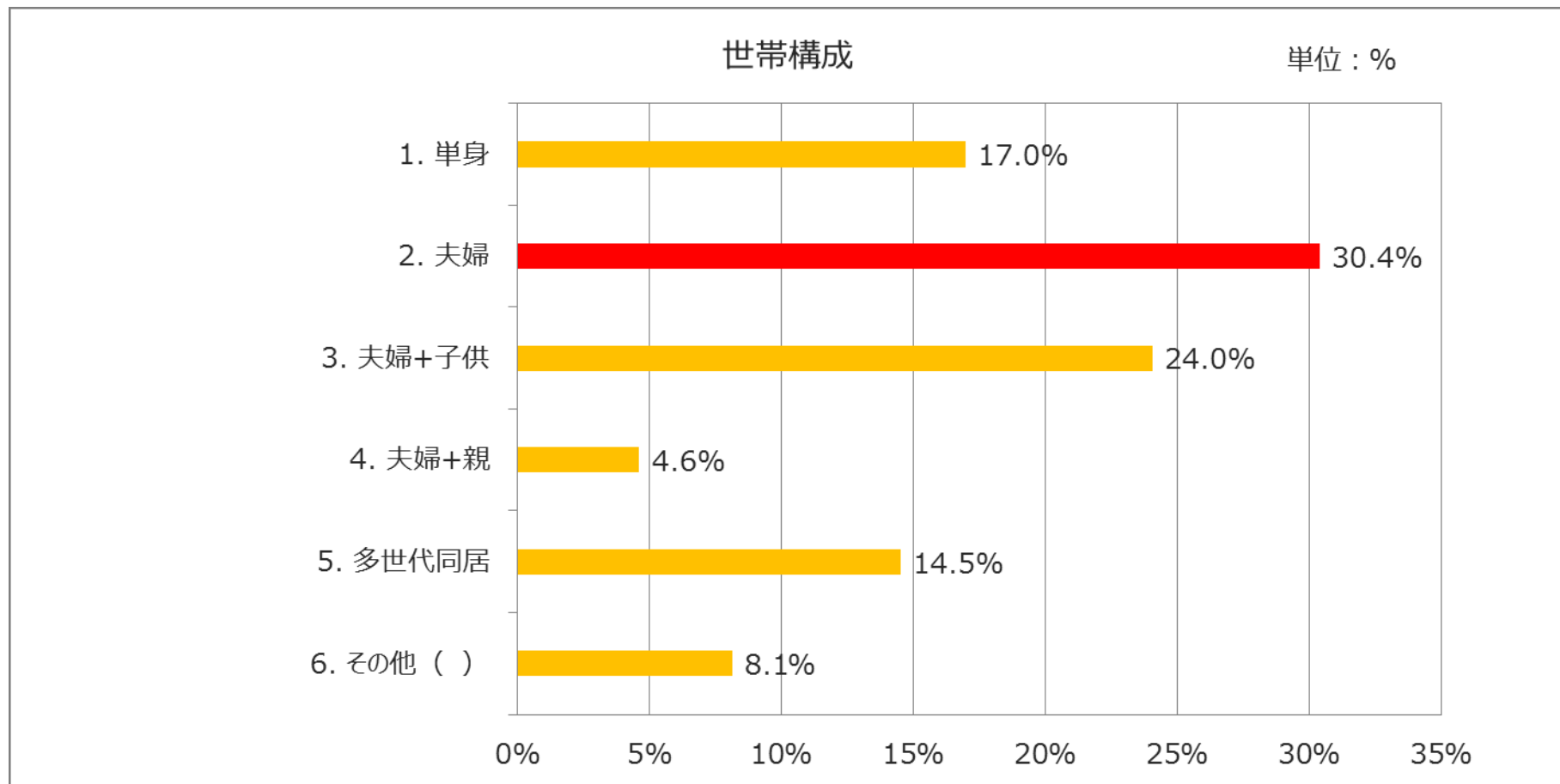
60代・70代の比率が高いため、「無職」の比率も高い。



## 【世帯構成】

世帯構成は、「夫婦」が最も多く **30.4%** であった。

単身世帯も17.0%に上っている。



# 各質問の回答

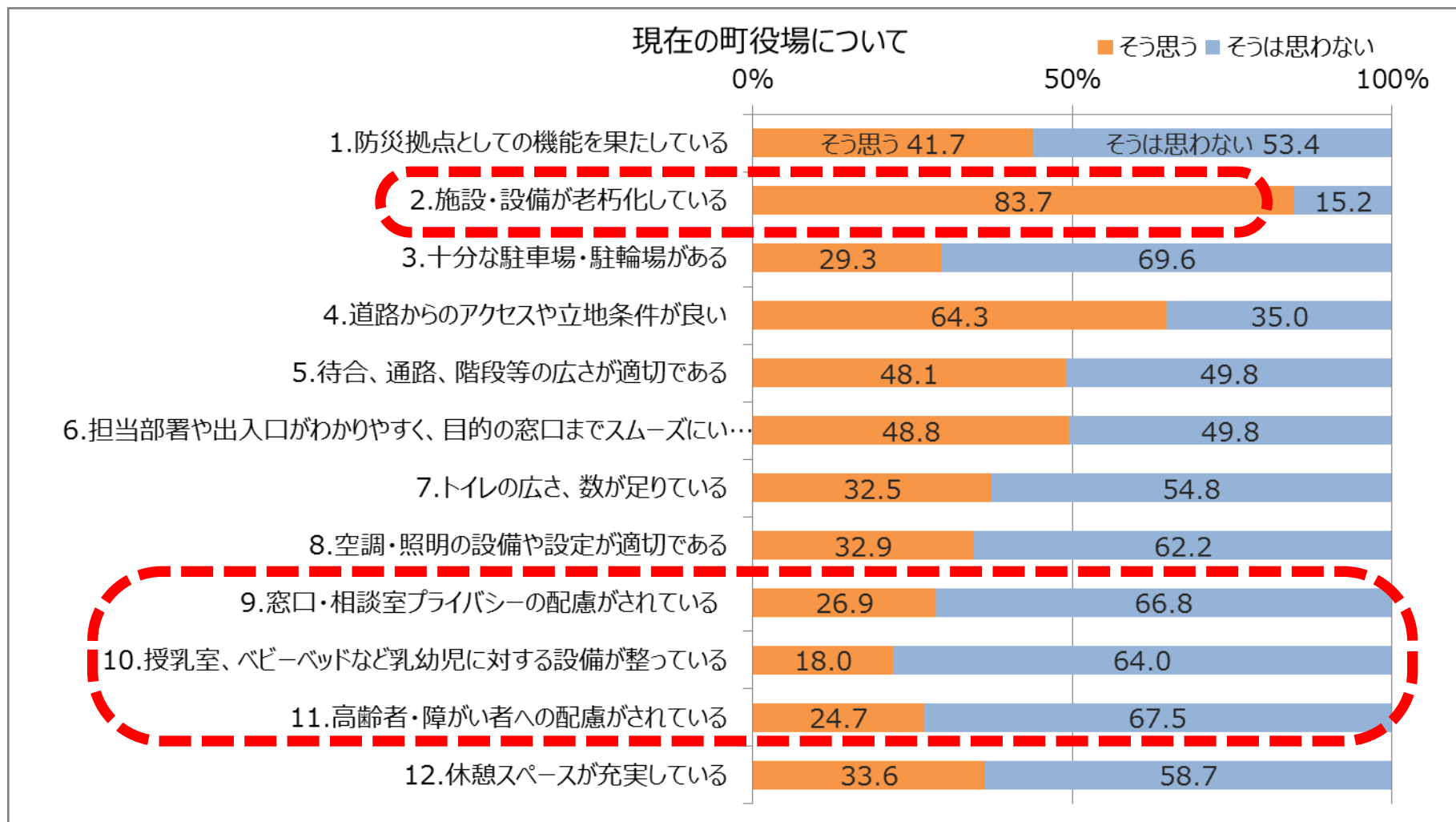


# 問1 現在の町役場について

「施設・設備が老朽化している」と考える人が、8割以上を占める。

また、「駐車場の不足」「利用者へ配慮が十分ではない」とする回答が高くなっている。

年代別では、～20・30代で「乳幼児に対する設備の不足」、50・60代では、「防災拠点としての機能不足」をあげる傾向が見られた。

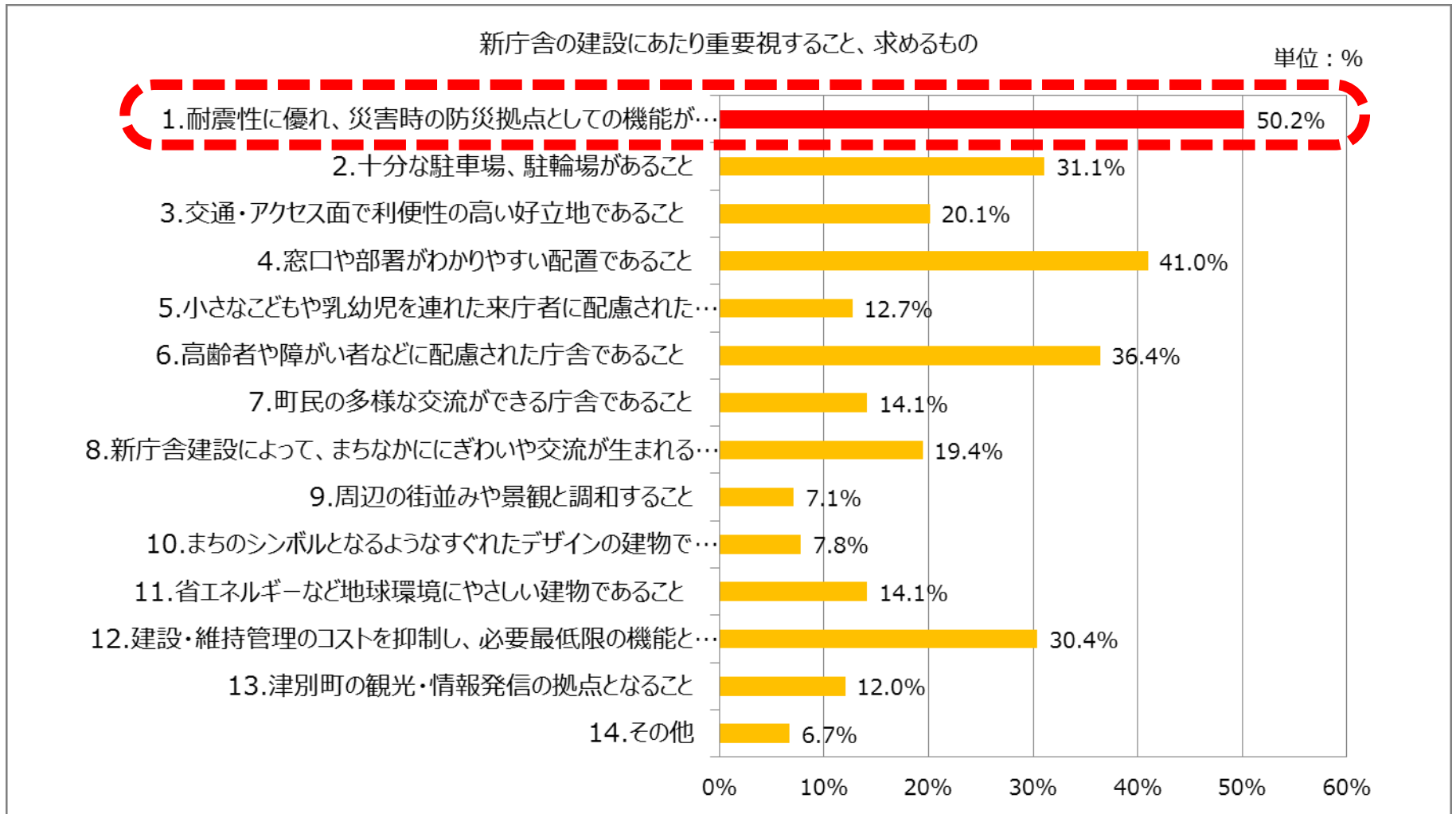


## 問2 新庁舎に求める事・重要視する事

「防災拠点としての機能確保」が、50.2%と最も多い回答となった。

年代別では、～20・30代で「窓口・部署の配置がわかりやすいこと」、

40・50代で「高齢者や障がい者への配慮」が、60・70歳以上で、「必要最低限の機能とし、コストを抑制すること」の割合が高い傾向が見られた。

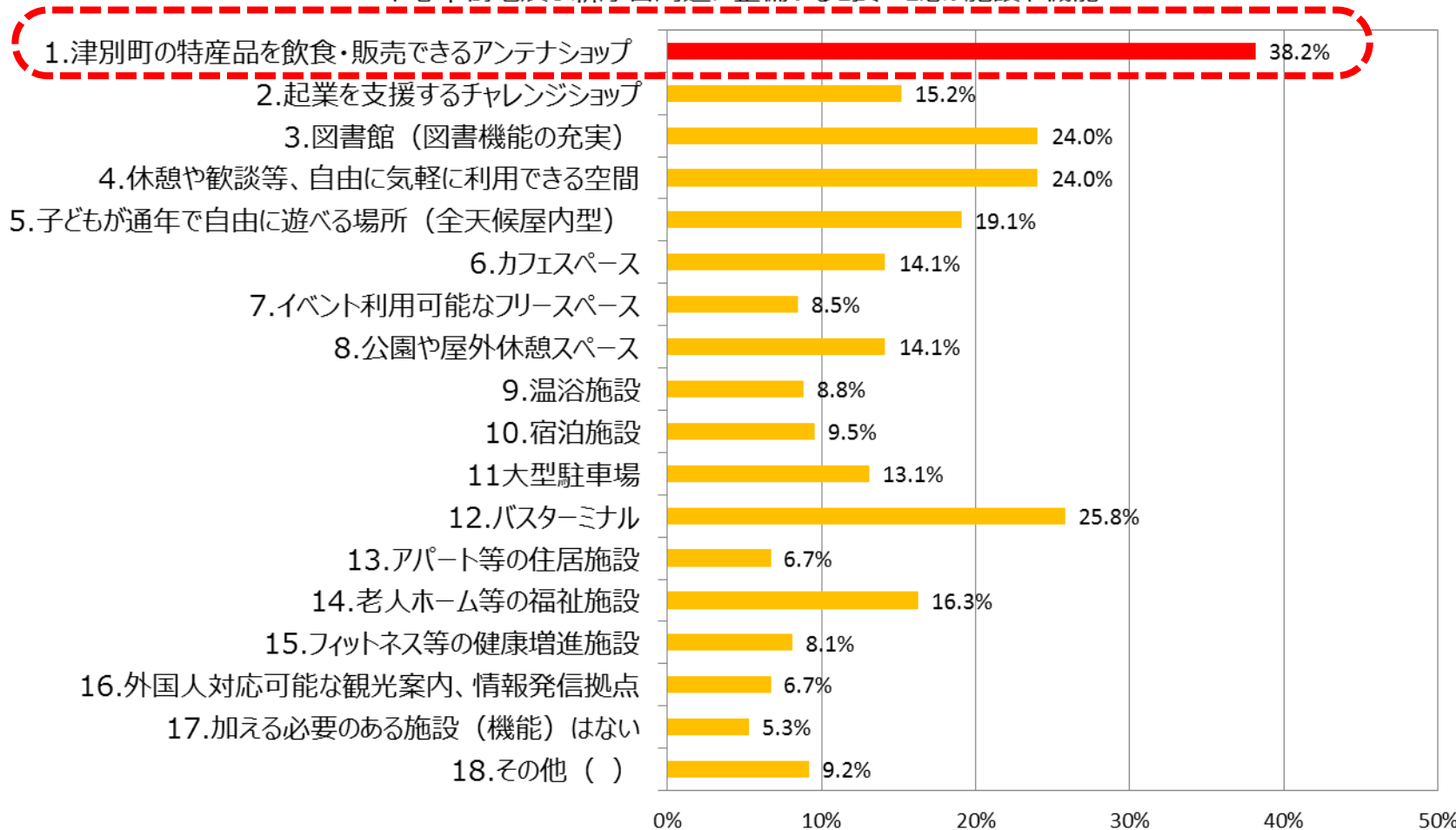


# 問3 中心市街地や新庁舎周辺に整備すると良いと思う施設・機能

「津別町の特産品のアンテナショップ」が、38.2%と最も多かった。

他に、「図書館」「自由に利用できる空間」「バスターミナル」も各20%占めている。年代別では、～20・30代と40・50代で「図書館」と「子供が通年遊べる場所」、60・70歳以上で、「バスターミナル」の割合が高い傾向が見られた。

中心市街地及び新庁舎周辺に整備すると良いと思う施設や機能



# 問4 日常の買い物で利用する店舗

生鮮食料品や、食料品、及び、日用品、衣料品等ほぼすべての品目で、美幌町や北見市内で買い物をするという回答が多くを占めた。

また、コンビニの利用も一定数見受けられる。

単位：件

A) 生鮮食料品  
(肉・魚・青果)

B) A以外の食料品

C) 日用・家庭雑貨

D) 衣料品  
・服飾雑貨

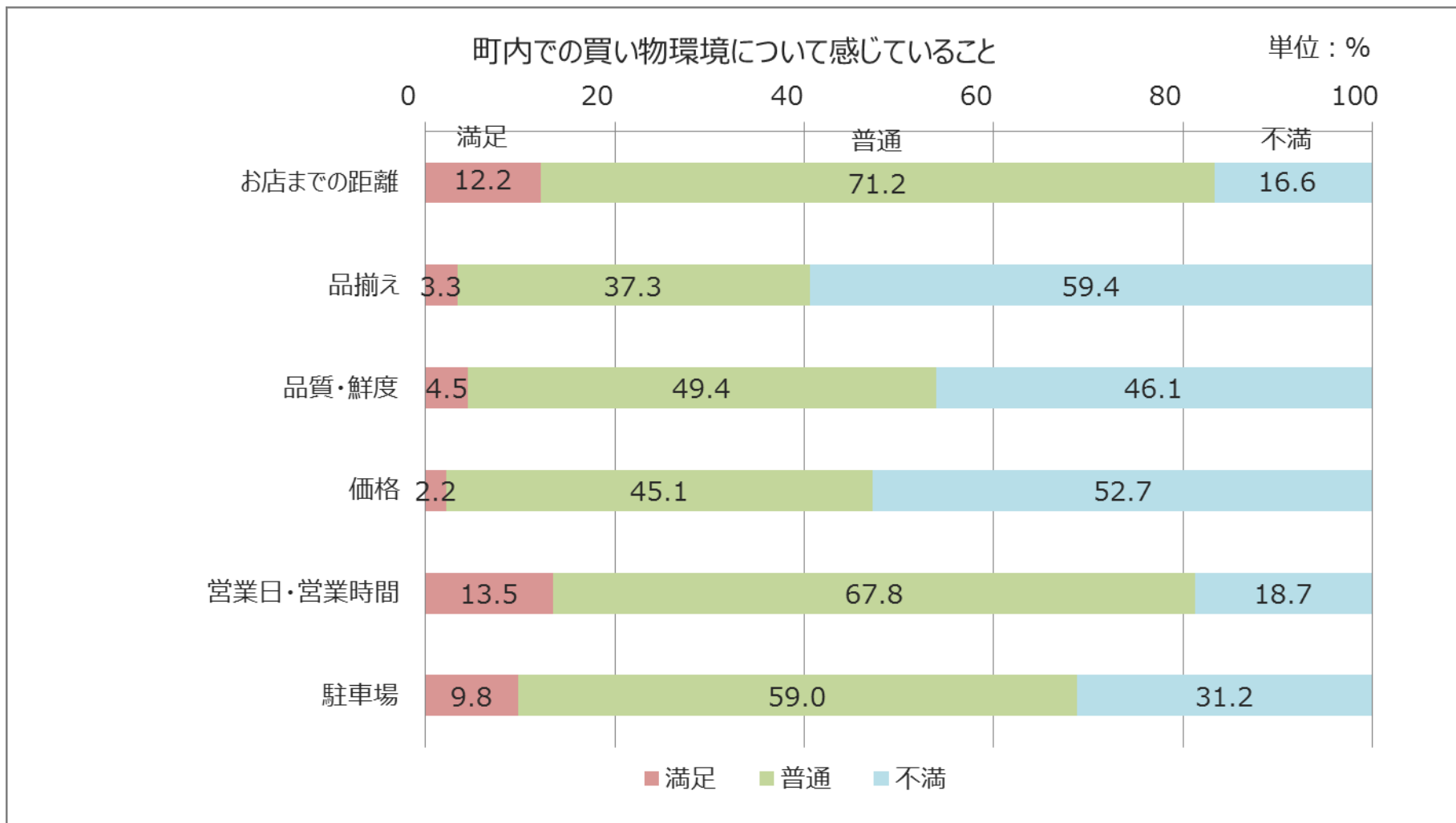
E) 医薬品  
・健康美容品

	A) 生鮮食料品 (肉・魚・青果)	B) A以外の食料品	C) 日用・家庭雑貨	D) 衣料品 ・服飾雑貨	E) 医薬品 ・健康美容品
中心市街地の商店	1 5	1 1	3 8	9 29	1 0 3
グリーンマート	21 64	13 78	8 29	7 24	3 0 3
コンビニエンスストア	7 35	37 109	8 24	0 2	5 0 6 1
その他の町内店舗 (活汲・相生・岐)	0 2	2 8	0 3	0 0	7 0 8 0
美幌町内の大型店 など	91 58	108 71	113 76	104 82	9 57 10 73
北見市内の大型店 など	64 50	73 83	96 81	102 81	11 130 12 84
カル君・トックなどの 宅配等サービス	8 14	23 19	7 12	4 12	13 0 14 5
通信販売	0 2	1 4	3 8	4 18	15 18 16 29

■ よく利用する ■ たまに利用する

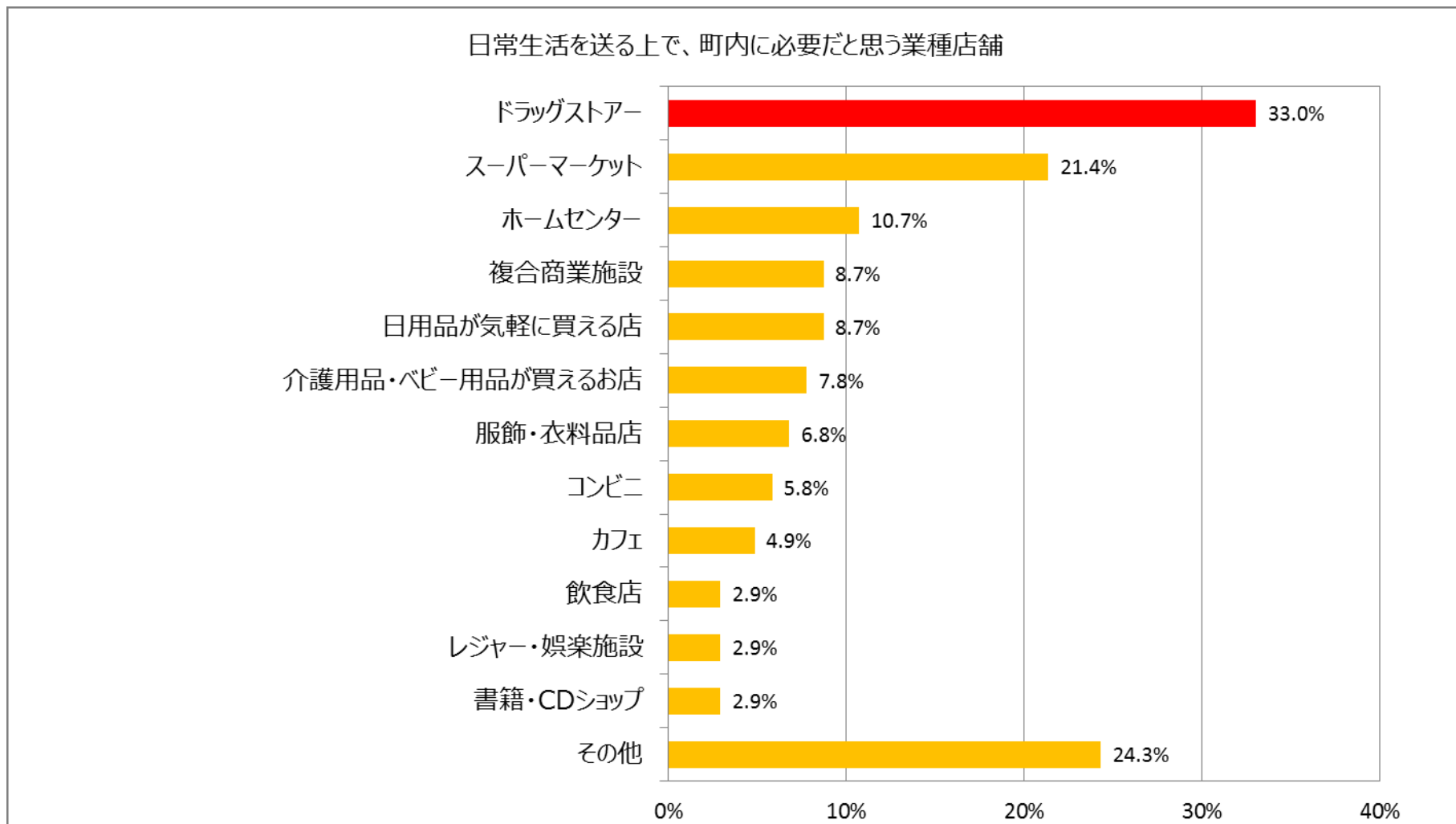
## 問5 町内での買い物環境について

「店までの距離」や「営業時間・営業日」について「普通」とした回答が半数以上を占めた。一方で、「品揃え」「鮮度」「価格」の面で「不満」とする回答が多くなっている。



## 問6 日常生活を送る上で、町内に必要だと思う店舗

「ドラッグストア」が最も多く**33.0%**であった。次いで、「スーパーマーケット」が21.4%となっている。日常生活を送る上で、食料品や日用品を気軽に購入できる店舗を求める意見が多く見られた。

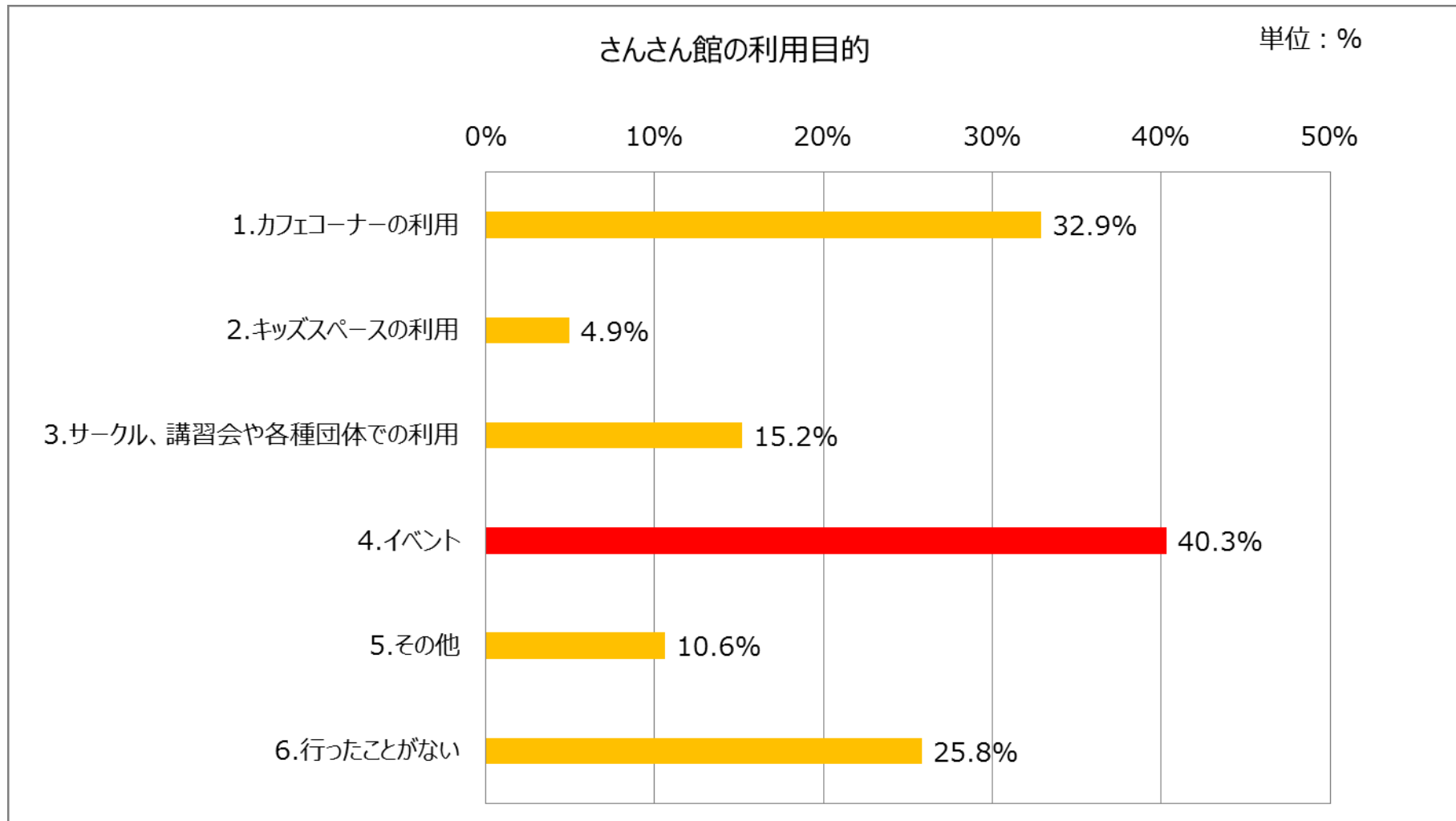


## 問7 さんさん館の利用目的

「イベント」での利用が最も多く、約4割を占めた。

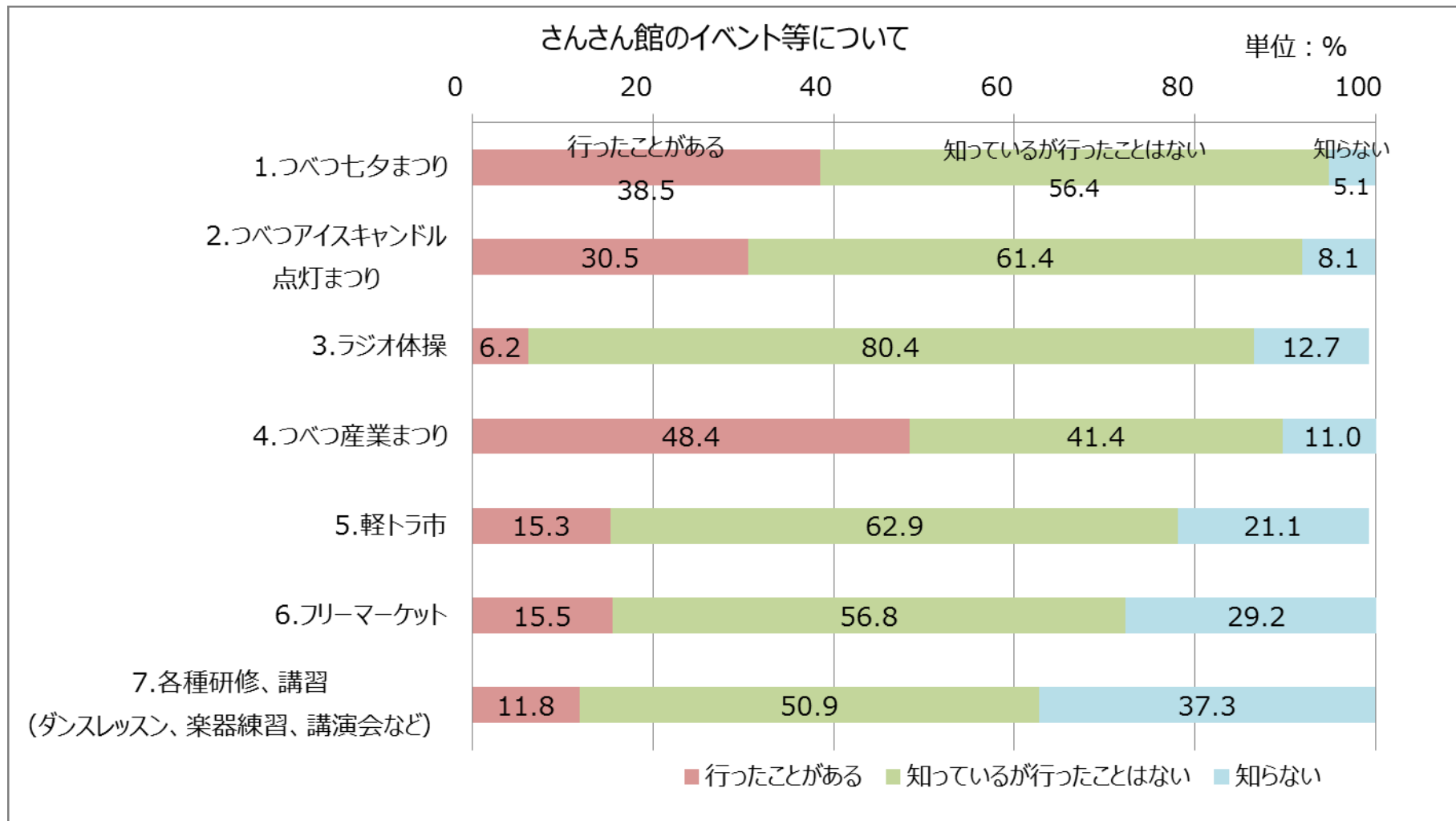
さんさん館に「行ったことがない」という人の割合も約25%占めており、地区別では、市街地地区、年代別では～20・30代でその割合が高くなっている。

(市街地地区 60% 活汲地区15% 最上地区10% 上里地区0% 本岐地区 12%)



## 問8 さんさん館のイベント等について

「つべつ七夕まつり」「つべつ産業まつり」は「行ったことがある」と回答した人の割合が3割を超えた。一方で「フリーマーケット」「各種研修」については「知らない」と答えた人の割合が高くなっている。





## 問9 さんさん館の活用強化のために必要と思われること

「地元特産品の販売強化」が33.2%で最も多かった。

年代別では、～20・30代と60・70歳以上で「イベントの充実」、40・50代と60・70歳以上で「地元特産品の販売強化」、～20・30代と40・50代で「津別町の観光情報発信の強化」と「カフェメニューの充実」を求める声が多かった。

